



駐屯地餅つき



来賓祝辞（永岡氏・青木氏・針谷氏）



駐屯地司令挨拶



各部隊等を巡回



会食



祝い餅つき
(年女 種市士長・年男 山口3曹)



祝い餅つき
(協力会会長・駐屯地司令)

平成二十九年十二月二十二日、天気にも恵まれ、駐屯地において「年末行事」が行われた。初めに、各部隊で餅つきを行う中、駐屯地司令が各部隊等を巡回し、一年の労をねぎらった。続いて、駐屯地厚生センター前において年末セレモニーを実施し、当初、駐屯地司令が挨拶し、次に来賓祝辞として、協力会会長（古河市長）、針谷力様、後援会会長 青木正夫様、後援会特別顧問（衆議議員）永岡桂子様から挨拶を頂いた。

その後、祝い餅つきを来賓の方々、駐屯地部隊長等及び隊員代表として三十年の年男・年女によって行われ、会場がおおいに盛り上がった。来賓の方々、体育館において、駐屯地司令以下本部隊員と会食を行い懇親を深めた。各部隊等は、それぞれの場所でのBや隊員家族との会食を行い、楽しい時間を過ごし、盛会のうちに終了した。



激励の言葉（船田士長） 謝辞（小林士長）



新成人抱負発表（磯山士長）



駐屯地司令式辞

祝！新成人祝賀行事

平成三十年一月十二日、古河駐屯地新成人祝賀行事を体育館で実施し、新成人二十名の前途を祝った。

祝賀行事においては、隊員家族が見守る中、全員で国歌斉唱を行ったのち、駐屯地司令が式辞を述べ、協力会会長（古河市長）、針谷力様からご祝辞を頂いた。その後、新成人を代表して第一〇二施設直接支援大隊 磯山士長が抱負として、「社会人としての責任と自覚を持つ・親への感謝の心を忘れない」など、二十歳となった現在の誓いの言葉を述べた。

祝賀行事後、駐屯地食堂で祝賀会食を実施し、新成人達は、多くの来賓・家族から祝福を受けた。会食の最後には、先輩隊員代表として船田士長から「模範となるよう努力して行くので、ともに頑張ろう」と激励の言葉をもらい、小林士長が「今よりも成長出来るよう日々努力します」と謝辞を述べた。

午後からは、広報展示室において講師の先生をお招きして篆刻を体験し、一文字を石に彫り成人の記念として印鑑を作成し、祝賀行事を終了した。

古河駐屯地司令杯



試合



選手宣誓

十二月十七日、駐屯地曹友会は「古河駐屯地司令杯小学校バレーボール交流大会」を開催した。今大会は、近隣住民との交流を図り、自衛隊及び駐屯地に対する理解と信頼を向上することを目的として近隣小学生を招待して実施した。当日は、駐屯地司令の挨拶の後、小学生代表による力強い選手宣誓で幕を開けた。

大会は、二ブロック八チームによるリーグ戦を実施し、どのチームも白熱した試合を繰り広げた。また、休憩時間等には広報展示室や展示車両の見学を行い、緊張もほぐれ、笑顔のぞかせていた。

東ティモール能力構築支援



見送り行事



測量要領の教育

十月二日から十一月十二日までの間、第一〇一施設器材隊、第一〇二施設直接支援大隊、横山三曹、計三名が「日米豪共同東ティモール民主共和国能力構築支援」へ参加し、米・豪軍と連携し、現地において同国の要員に対して測量や車両整備に関する教育を実施し、無事帰隊した。

また、体育館において、出発前に駐屯地各部隊等が見送る中、盛大に見送り行事が行われた。

新成人紹介



茨城県殉職隊員追悼式



顕花



慰霊碑参拝

十月七日、勝田駐屯地において殉職隊員追悼式がしめやかに行われ、古河駐屯地を代表して、関東補給処、古河支処長及び各部隊等の代表者が参列し、鎮魂の祈りを捧げた。

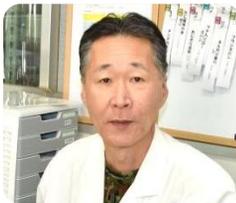
当日は、慰霊碑参拝に引き続き、追悼式典が執り行われ、黙祷が捧げられた後、遺族・茨城県知事をはじめ来賓の方々、各駐屯地司令等が献花を実施した。

終わりに、儀仗隊による弔銃が行われ、式は厳粛に終了した。

定年退官者（予定）の紹介



支処 川島 1 曹
4月9日付



業務隊 松田 曹長
3月20日付



102DS 石川 曹長
2月26日付



業務隊 中里 曹長
2月18日付



業務隊 鈴木 曹長
2月16日付



支処 大熊 事務官
3月31日付



支処 加藤 事務官
3月31日付



業務隊 島田 事務官
3月31日付



業務隊 小池 事務官
3月31日付

第301ダンプ車両中隊



ダンプ作業

十一月七日から二十三日までの間、秋季東富士演習場定期整備に参加した。整備の場を活用し、若年隊員の操縦技術の向上を図るとともに、東富士演習場の各作業地域においてダンプ作業及び施設器材による支援を実施した。総運土台数二百九十七台・千七百八十二m³の骨材運搬を実施し、本定期整備任務の完遂に寄与した。

第102施設直接支援大隊



機関銃掩体構築



前進命令下達

十月十二日から二十三日までの間、方面隊の作戦における東部方面後方支援隊の行動に關して訓練検閲を受閲し、総合戦闘力の最大限發揮に必要な各種能力の進歩・向上を図った。



銃剣道

十二月五日から八日までの間、駐屯地において、平成二十九年度団戦技競技会及び兵站競技会に参加した。戦技競技会では、射撃・断郊走・銃剣道が実施され、兵站競技会では車両操縦技術・予防整備・基礎知識が試された。それぞれの種目において中隊の代表選手が実力を発揮し、銃剣道個人戦陸曹の部で鈴木二曹、女性の部で西阪士長が優勝の成績を収める。



ダンプ故障整備

十一月十三日から二十二日までの間、東富士整備支援隊として、秋季東富士演習場定期整備に参加した。本整備支援隊の編成にあたり、平素から直接支援態勢を保持しつつ、全般支援大隊(隊)の一部を受けて、需品整備機能を増強し、装備品の高可動率維持に寄与した。

320基地通信中隊 古河派遣隊



施設巡視中の小澤大隊長

十一月十三日、第一〇五基地システム通信大隊長小澤広道三等陸佐が来隊し、翌十四日に大隊長職務視察が行われた。岸三尉が派遣隊長として着任してからは、初めてとなる大隊長職務視察であり、一新された派遣隊の様子を伝えることができた。

第337高射中隊



器材準備

十一月中旬、米国マクレガー射場にて行われた、部隊実射訓練検閲を受閲した。参加者は二高群の代表として、不撓不屈の信念で訓練に当たった。結果は、目標撃墜、「優良」の成果を獲得することができた。しかし、これに満足することなく、今回の指摘事項を早期に改善し、さらなる精強な部隊を目指し、引き続き練度の向上に努めたい。



養成訓練の様子

十一月十三日から十五日にかけて、第三二〇基地通信中隊の計画による陸曹候補生養成訓練が始まり古河派遣隊でその第一回目が実施された。岸三尉、浜田三曹及び熊谷三曹を教官助教とし、各派遣隊から陸曹候補生を目指す陸士が集まり厳しく熱い教育が行われた。



力走する選手

十二月十三日から十九日の間、松戸駐屯地にて行われた、平成二十九年度持続走競技会に参加した。隊員は、この日に向け集中的な訓練を十月より行なってきた。結果は、第二位であったが、一般走や駅伝走では軒並み自己新記録を更新し、各隊員は日々の練成成果を遺憾なく発揮した。これからも総合優勝を目指し努力していく。

駐屯地広報班



来場者で賑わう会場



展示車両と記念撮影

十一月四日及び五日の二日間、古河市で実施された「古河よかんべ祭り」を支援した。イベントのひとつとして、自衛隊車両の展示依頼を受け、駐屯地隊員九名が参加し、小型トラック・偵察用バイク展示、迷彩服・防弾チョッキ試着・パネル展示コーナーを設け、広報活動を実施した。来場者は、普段見られない自衛隊の装備品や写真パネル等に興味津々の様子で熱心に説明を聞いていた。子供達には、迷彩服に着替え、車両等に乗って入ったり、記念写真を撮ったりと楽しそうに見学していた。

第341会計隊



優秀隊員

十一月十四日から二十三日までの間、定期演習場整備会計同行支援班として、古河本部から池田三曹、灰野士長が参加し、整備隊に必要な借上器材に係わる調整、糧食品現地調達等を実施した。第一施設団長より優秀隊員として灰野士長が表彰を受けた。



射撃競技会

十一月二十二日、平成二十九年東部方面会計隊射撃競技会表彰式が実施され、全十個部隊中「優勝」という成果を修めた。射撃競技会においては射撃の得点の他、射場勤務、分解結合等総合的に採点された。今後も射撃予習等練成をしっかりと実施し、継続的に良い成果を修められるよう励んでゆく所存である。